



【先週 8月11日～8月17日の外食の出来事】

■プレナス 弁当のほっともっと、190店を閉店へ 赤字転落見込み

持ち帰り弁当店「ほっともっと」を展開するプレナスは9日、全国の直営店190店を9月以降に閉店すると発表した。人手不足による人件費高騰で店舗の運営費が上昇しており、不採算店を中心に閉めて構造改革を急ぐ。

■モスフード、純利益 35%減、4～6月期 店舗減響く

2019年4～6月期の連結決算は純利益が1億8900万円と前年同期比35%減った。リース取引に伴う会計処理の関係で減価償却費が増えた。店舗数減少による減収も響いた。売上高は1%減の161億円だった。

■フジオフード、上半期(2019年1月～6月)の連結業績 増収減益

12月期 第2四半期の連結業績は売上高187億2600万円(対前年同期比6.9%増)、営業利益8億6100万円(同26.9%減)、経常利益8億3600万円(同28.1%減)、四半期純利益3億5900万円(同39.7%減)であった。

■ワタミ、6年ぶり営業黒字 4～6月期

2019年4～6月期の連結決算は、営業損益が8400万円の黒字になった。4～6月期の営業損益が黒字になるのは6年ぶり。国内の外食店で売上高が伸びた。原材料の仕入れ効率化も寄与した。

■コロワイド、第1四半期(2019年4月～6月)の連結業績 減収減益

2020年3月期 第1四半期の連結業績を発表。営業収益59億6900万円(対前年同期比0.6%減)、税引前四半期利益14億1300万円(同45.5%減)、四半期利益5億1600万円(同69.8%減)であった。

■テナライド、第1四半期(2019年4月～6月)の連結業績 減収減益

2020年3月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高38億9100万円(対前年同期比0.6%減)、営業利益5400万円(同19.3%減)、経常利益5600万円(同20.6%減)、四半期純利益2200万円(同85.7%減)であった。

■APカンパニー、既存店プラス。立ち寿司横丁で潮目変わる？

塚田農場などの株式会社エー・ピーカンパニーが、2019年7月の月次営業レポートを発表した。直営店で客数2.6%増、客単価0.6%減で、売上高2.0%増。2018年10月以来、7ヶ月ぶりのプラスとなった。

■ゼンショー、営業利益5割増 間もなく世界1万店舗に

ゼンショーの2020年3月期第1Q(2019年4～6月)業績は売上高1533億19百万円、6.4%増。営業利益が44億41百万円、50.1%増と倍増した。ゼンショーはグループ計で、フランチャイズ含みで9,719店舗となった。

■マクドナルド、44ヶ月連続既存店プラス プラスチックおもちゃ回収で女性に高評価

2019年7月月次動向を発表した。既存店では客数1.0%増、客単価3.1%増で、売上高は4.1%の増加。44ヶ月連続の対前年同月比プラスとなった。天候の悪かった7月にも関わらず売上増となった。